

秀吉の愛した黄金の茶碗。
時空を越えて今、平成の世にあらわれる。

祈りと美の伝承

醍醐寺展

「秀吉 醍醐の花見四〇〇年」



平成10年7月25日[土]-9月6日[日]

休館日：毎週月曜日

■会場 山口県立萩美術館・浦上記念館(2階全展示室)

■観覧料 大人 1,000円(800円) 学生 800円(600円) ただし、高校生以下は無料。※()内は前売りおよび団体(20名以上)料金 ※左記料金で平常展示もご覧になれます。

■主催 総本山醍醐寺、山口県立萩美術館・浦上記念館、毎日新聞社西部本社、TBSテレビ、日本経済新聞社 ■後援 文化庁、萩市、RKB毎日放送、山陰放送

記念講演会●7月25日(土)AM10:30~12:00 講師：有賀祥隆氏(東北大学文学部教授)「醍醐寺の密教美術」

同時開催●浮世絵平常展示「五十三次の世界Part1・2」7月25日~8月16日、8月18日~9月6日/東洋陶磁平常展示「古染付の世界」7月25日~10月4日

次回予告●よみがえった南宋陶磁の輝き展(仮称)10月10日~11月15日



山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758-0074 山口県萩市平野2556-1 TEL 0838-24-2400 FAX 0838-24-2402

祈りと美の伝承

醍醐寺展

「秀吉 醍醐の花見四〇〇年」

真言宗醍醐派の総本山醍醐寺の歴史は、理源大師聖宝が貞観十六年(八七四)京都・伏見の笠取山山頂(上醍醐)に准胝、如意輪の二体の観音像を祀った時に始まりです。十世紀には上醍醐に醍醐天皇御願の薬師堂、五大堂などが営まれ、次いで西麓(下醍醐)に釈迦堂、五重塔などが建ち、壮大な伽藍に発展しました。また、永久三年(一一一五)には勝覚が三宝院流を始め、その後の醍醐寺密教の教義とその造形美術の展開に大きく寄与しました。鎌倉時代以降は幾度か伽藍の炎上、再建を繰り返しましたが、戦国時代の文明二年(一四七〇)に至って下醍醐は五重塔を残して伽藍のほとんどが焼き払われ、壊滅的な大打撃を受けました。これを復興したのが豊臣秀吉と深い交わりのあつた義演です。秀吉の強力な支援の下、三宝院や庭園、伽藍が見事に整備され、新たな景観が醍醐寺に加わりました。

秀吉は慶長三年(一五九八)にその検分を兼ねて「醍醐の花見」を行いました。今年はそのそれから数えて四〇〇年目になります。本展は、これを機に創建当時から伝わる名宝を一堂に集め、「密教の祈り」「醍醐を彩る人々」「美の伝承」の三部構成によって、醍醐寺独自の密教とその文化の質の高さ、奥行きを深さを広く世に紹介します。



豊臣秀吉像〔江戸時代〕縦1004mm 横563mm



如意輪観音坐像〔鎌倉時代〕像高333mm



千手観音立像〔平安時代〕像高1910mm



仏涅槃図〔鎌倉時代〕縦1400mm 横1128mm



松桜樓幕図(生駒等寿筆六曲屏風)〔江戸時代〕縦1680mm 横3590mm(写真は左隻 桜)



松桜樓幕図(六曲屏風)〔江戸時代〕縦1595mm 横3648mm



- 観 覧 料 大人1,000円(800円) 学生800円(600円) 高校生以下は無料。
※()内は、前売りおよび団体(20名以上)料金。
※上記料金で平常展示もご覧になれます。
- 交 通 案 内 ●JR東萩駅:タクシー10分/徒歩30分
●JR小郡駅:特急バス60分(萩バスセンター下車、徒歩15分)
●石見空港:直行バス75分(萩バスセンター終点、徒歩15分)
●中国自動車道:小郡I.C.・美祢I.C.から各50分
- お問い合わせは 山口県立萩美術館・浦上記念館
〒758-0074 山口県萩市平安古586-1 TEL.0838-24-2400(代)

《割引券》
醍醐寺展
当日券の100円引き